

一般社団法人全国信用金庫協会 第141回通常総会における
佐藤会長の挨拶要旨

日 時：平成30年2月22日（木）
13時～
場 所：信用金庫会館京橋別館
3階 大会議室

（経済情勢）

最近のわが国経済は、政府が推進する経済政策の効果に加え、米国の堅調な景気回復等を背景に、緩やかな回復が続いており、大企業を中心に業況は明るさを増してきています。

一方、地域経済の担い手である中小企業においては、水面下で足踏みを続けていた業況に改善の兆しが見られるものの、未だ本格的な回復には至っておらず、経営者の高齢化、後継者問題、さらには人手不足が深刻化するなど、多くの経営課題に直面しています。

信用金庫の収益環境は、地域の人口や中小企業数の減少に歯止めがかからないことに加え、マイナス金利政策が継続される中で、他金融機関との競争が激化しており、預貸金利鞘が縮小し、本業による収益の確保が困難となっているほか、運用利回りも低水準のまま推移するなど、かつてない厳しい状況が続いています。

このような情勢のもと、信用金庫は、地域やお客様が抱える課題と真摯に向き合い、金融仲介機能のさらなる発揮に努め、地域経済・社会を支えていかなければならないと考えています。

（業界の課題）

全信協では、業界の新たな3か年計画として「しんきん『共創力』発揮3か年計画」を作成し、本年4月からスタートさせることとしています。

同計画では、信用金庫が、“お客様と共に豊かな地域の未来を創り上げていくことによって、地域金融機関としての強固な経営基盤と確固たる地歩を確立していくこと”を目指し、「つなぐ力」など、独自性・特性や強みをさらに発揮しながら、信用金庫がこれまで行ってきた取り組みを深めて発展させていくこととしています。

それぞれの信用金庫が置かれた状況はさまざまですが、業界全体で、新3か年計画に掲げた施策を積極的に推進していくことによって、信用金庫が地域やお客様から真に必要とされる存在であり続けることを目指してまいりたいと考えています。

また、全信協では、業界の長期ビジョンについても現在策定中であり、新3か年

計画と併せて推進してまいりたいと考えています。

そこで、この新3か年計画に盛り込まれた、業界が積極的に取り組むべき課題について、4点ほど申し述べたいと存じます。

1点目は、「環境変化に対応した経営基盤の強化」についてです。

先ほど述べたような厳しい環境の下で、金融仲介機能を発揮し、地域経済・社会を支えていくためには、信用金庫は非価格競争力の強化、円滑な資金供給を通じた貸出金利の適正なプライシングの実現や、役務収益の拡大に努めるとともに、共同化等を通じた事務・業務の効率化を早急に進めるなど、あらゆる角度から収益性の向上を図っていくことが喫緊の課題となっています。

信用金庫は、協同組織金融機関としての特性を踏まえつつ、こうした課題に果敢に取り組み、環境の変化に適切に対応しながら経営基盤の強化に努め、地域に貢献していかなければなりません。

2点目は、「地方創生・地域活性化に資する取り組みの推進」についてです。

地方創生を実現していくためには、信用金庫が地域の状況をきめ細かく把握し、地域が抱える課題に対して主体的に関与し、金融・非金融の両面から地域を支援していくことが重要となります。また、地域経済の発展には、活力ある中小企業の存在とその成長が欠かせません。

このため、信用金庫は、お客様との対話を重視した事業性評価をさらに推進することにより、適時適切な資金提供、課題解決を実践し、将来性のある事業者の発掘、成長分野への進出を徹底的に支援していかなければなりません。

また、顧客本位の業務運営を念頭に置き、これまで以上にお客様のライフスタイルやライフイベントに応じたきめ細かい金融サービスの提供を行っていくことで、地域経済・社会の持続的な発展に貢献していく必要があります。

3点目は、「経営管理態勢の充実・強化」についてです。

信用金庫が地域から信頼され、地域に必要とされる金融・決済サービスを安定的に提供していくためには、法令等遵守態勢の充実・強化や、ガバナンスの質の向上に努めるなど、経営管理態勢を一段と充実・強化していくことが重要となります。

具体的には、反社会的勢力との関係遮断、特殊詐欺などの金融犯罪防止に向けた取り組みをはじめ、サイバーセキュリティ対策、さらには国際的な課題となっているマネー・ローンダリング対策等について、引き続き対応を強化するとともに、120年振りの民法大改正など実務に影響する法令改正等について、適切に対応していかなければなりません。

4点目は、「自主と協調による業界総合力の発揮」についてです。

環境が激しく変化する中で、信用金庫に求められる機能・役割はこれまで以上に大きくなってきておりますが、限られた経営資源の中で、それぞれの信用金庫が戦

略目標を達成していくためには、個別信用金庫での取り組みに加え、業界の強みである全国ネットワークを活用して、経営の効率化、競争力の強化を図っていくことが重要です。

特に、業務の共同化・共通化を今まで以上に推進することにより、業界の総合力を発揮していかなければなりません。

以上、いろいろと申し述べましたが、来るべき平成30年度は、業界の新3か年計画がスタートいたします。全信協といたしましては、信金中央金庫、地区協会をはじめとする業界関係機関との連携を一段と強化し、会員信用金庫のご期待にお応えできるよう努力してまいります。引き続き皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

以 上